

令和4年度 校長だより 第1号

---

### 1 新年度が始まりました。

令和4年度が始まりました。

新2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。大きな夢と希望を胸に、1年生320名が入学します。2年前、1年前、みなさんは、どんな気持ちで入学式を迎えましたか。

「初心、忘るべからず」 科学技術高校入学時に抱いた決意を再確認し、毎日を大切にしていきたいと思います。

これから始まる新年度が、みなさんひとりひとりにとって、有意義なものになることを願っています。



### 2 「未見の我」を見つけよう！

「未だ、見たことのなかった自分を目指しなさい。

心は熱く、一生に一度くらい、本気でやってみなさい。

必ず達成します。運命をつくりなさい。」

これは、松下村塾を主宰し、明治維新で活躍した若者たちに多大な影響を与えた吉田松陰の言葉だと伝えられています。

人は誰でも、自分の中に自分の知らないすばらしい自分が眠っている。しかし、人は皆、自分の中にある能力のほとんどを使わずに、まして気付くことさえないままに、その人生を終えてしまうのだそうです。

人生とは、未だ出会ったことのない自分、試練を経て成長した先にある新たな自分を求める旅であると言えるかもしれません。

「未見の我」に気付くためには、自分自身を深く見つめ直し、外部の刺激に触れ、何かに本気に取り組むことが大切です。本気に取り組む時だけ、内に眠っている才能が発揮されます。その結果が成功であれ、失敗であれ、未だ見ぬ自分に出会えた時に、人は感動し、成長した自分に気づくはずです。偉人と呼ばれる人々の伝記を読んでもみると、その偉業のきっかけのほとんどが、「未見の我」との出会いにあることがわかります。

「未見の我」と出会うために、『微差』は『大差』を実践することをお勧めします。

「自分の周りをいつもきれいにする」「人にはいつも笑顔で接する」「常に前向きな言葉を使う」「自分のやることに少しのこだわりを持つ」等々、ひとつひとつはどれも難しいことではないし、誰にもできることです。こうした「微差」を積み上げていくと、やがて大きな成果を生み出すことになります。

いきなり最初から大きなことを成し遂げようとしなくとも、まず、こつこつと、自分にできる「微差」を積み上げていきたいと思います。毎日ワクワクしながら、充実した高校生活を送り、それぞれが「未見の我」との出会いを楽しみに挑戦していったほしいと願います。

私たち教職員一同、「チーム科学技術高校」として、心から応援しています。

### 3 授業や部活動の様子を見に行きます。

私は、みなさんの授業や部活など、生き生きと頑張っている様子を、時間の許す限り見て回りたいとおもいます。その節は、よろしくお願いします。